

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	法政大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ホウセイダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F113310103484
	大学等名1(代表大学等) 学校本部所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等) 学校種別	私立大学
	科目名	Project 2-A(Internship)
	学部・研究科等名	法政大学:イノベーション・マネジメント研究科
	担当教職員名・役職	Kenneth Pechter:教授、米倉 誠一郎:教授
	受講者数実績年度	令和4年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	9
	受入企業等数	9
	受入企業等名	(株)正奇、(株)Archaic、日置電機(株)、(株)Fast beauty、栗林商船(株)、(株)星野リゾート、(株)レントラックス、(株)ディー・エル・イー、ジェイネッツ(株)
	産学協議会の整理上の類型※令和5年度の取組については必ず2.~5.のいずれかを選択してください。	1.令和4年度実績につき分類未適用
	キャリア形成支援活動の分類	1.長期(概ね1か月以上)のキャリア形成支援活動 7.高学年(大学3年次~4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動 9.大企業・グローバル企業でのキャリア形成支援活動 10.中小企業でのキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	経営の一環としてプロジェクトに携わり、経営企画の案件立案に加わる経験、外国人対象のマーケティング、人材採用、社風改革の意見をまとめさせる機会、日本企業の利点を実感することができるような体験を実習内容として行う。最終的には、成果を発表する機会として報告会を実施する。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	2.当該キャリア形成支援活動は、キャリア教育科目として実施している 4.当該キャリア形成支援活動は、必修科目として実施している 7.当該キャリア形成支援活動は、授業期間中に実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学院 専門職1年 大学院 専門職2年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学院 6単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	2学年度を対象に160時間以上の実習時間をもってインターンシップを行う応用必修科目「Project 2-A(Internship)」として実施している。通常日本の民間企業で行い、実際のビジネス学習体験を提供するとともに、日本語と日本文化を集中的に学習し、実際の職場の状況に触れる機会を提供する。単位認定においては、6単位を付与している。

項目	確認事項	届出内容	
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している	
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容		
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている	
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容		
	3-2-3.該当するモニタリング	2.インターンシップ等の就業体験実施期間中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容		
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	オリエンテーション期間を3週間分(シラバス上)設け、説明会として教員から学生にProject 2-A(Internship)の目的と手順を明確にして、具体的な目標と成果を説明する。その後、3週間分(シラバス上)を個別のインターンシップ先の企業のリサーチ及び交渉を教員がサポートする。(概ね週に2～4時間の準備時間)	
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	実習期間中、「タイムシート」に作業内容を記録し、実習終了後、提出する必要がある。実習終了後、2週間分(シラバス上)を最終レポートとプレゼンテーションの準備とする。最終的に学生は受入組織に対して、職務、個別のプロジェクトなどを要約したプレゼンテーション報告会を行う。(概ね週に5～10時間の準備時間)	
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	授業実施日等に、必要に応じ担当教員と面談できる環境となっている。	
	要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
		4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み			
4-3.上記回答内容に関する詳細		インターンシップ活動期間の事前、中間、最終レポートの提出を義務化することで、キャリア形成活動中の学生の変容を確認し、教育的効果を把握している。レポートの内容によって、学生に合わせて指導や状況確認を行っている。	

項目	確認事項	届出内容
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	160時間以上
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	各企業において、計160時間以上の就業体験を行い、それとは別に事前・事後学習も実施している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	依頼事項を共有し、事前にインターンシップの実習目標や内容を決定し、双方で把握している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus.hosei.ac.jp/web/preview.php?no_id=2305632&nendo=2023&gakubu_id=GMBA&gakubueng=GMBA&t_mode=pc
問い合わせ先	大学等名	法政大学
	担当部署名	大学院事務部専門職大学院課イノベーション・マネジメント研究科
	担当者役職名	専任職員
	担当者氏名	岡垣 光祐
	電話番号	03-3264-4341
	メールアドレス	innovation@hosei.ac.jp